

協働環境委員会会議録

令和3年2月8日(月)
(開会) 11:22
(閉会) 11:48

【 案 件 】

1. 議案第2号 専決処分の承認(令和2年度飯塚市一般会計補正予算(第12号))

○委員長

ただいまから、協働環境委員会を開会いたします。「議案第2号 専決処分の承認(令和2年度飯塚市一般会計補正予算(第12号))」を議題といたします。執行部の補足説明を求めます。

○地域振興課長

「議案第2号 専決処分の承認」について、ご説明いたします。「専決第1号 令和2年度飯塚市一般会計補正予算(第12号)」につきましては、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、専決処分をいたしましたので報告を行い、承認を求めるものでございます。令和3年1月8日専決分の補正予算資料をお願いいたします。

3ページをお願いいたします。表の下に記載しておりますように、ふるさと応援寄附金に係る決算見込額の急増に伴う関連経費につきまして補正するもので、既定の予算総額に31億4835万7千円を追加して、945億3480万4千円にするものです。

4ページの補正予算概要書をお願いいたします。まず歳入でございますが、寄附金のふるさと応援寄附金の決算見込額を、44億8千万円と試算いたしまして、19億6千万円を追加するものでございます。繰入金のふるさと応援基金繰入金では、歳出に記載しておりますふるさと応援寄附事業費と同額の11億8835万7千円を追加するものでございます。次に、歳出でございますが、総務費の企画費、ふるさと応援寄附事業費では、寄附に対する返礼品代等の経費11億8835万7千円を追加しております。ふるさと応援基金管理費では、いただいたふるさと応援寄附金の補正額と同額を、ふるさと応援基金に積み立てるため、19億6千万円を追加するものでございます。

5ページ以降に、今回の補正に係る歳入歳出予算額の推移表、及び市債基金の状況表を添付しております。以上で補足説明を終わります。

○委員長

説明が終わりましたので、質疑を許します。質疑はありますか。

○川上委員

寄附金の見込みを補正して、なおかつ補正をするわけですよね。それで、これほどの寄附金の急増について、要因についてはどうお考えですか。

○地域振興課長

急激にふるさと納税が上がった理由でございますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、移動自粛、外出自粛が求められている中、家で過ごす時間というものがふえたことから、全国的にふるさと納税の利用増加につながっていると考えております。また本市では、市内事業者の方にご協力いただき、新規の登録事業者の追加と、それに伴う新たな返礼品の拡充・強化によるところが、寄附額増加の大きな要因となっていると思われ、あわせて寄附申し込みのポータルサイト数をふやす取り組みを行っており、その効果も寄附額増加の要因となっているのではないかと考えております。さらに景気の後退などもあり、節税などの観点も考えられるのではないかと考えております。

○川上委員

今、全国的にもそうです、本市としては3つぐらい手だてをしたんです、ということだったんですけど、今、聞いている範囲の市の手だてだけで、これほどふえるのかと。しかも、この12月に。12月にふえたんですよね。これを考えると、これまでふるさと応援寄附をした人より外に輪が広がったのか、これまでいつもしてくれている人がもっとしたのか、ちょっと知りたい気がするんですけど、その辺は分析ができるんですか。

○地域振興課長

リピーターの方もかなりいらっしゃいます。さらに、輪が広がっていったというふうにご考えております。

○川上委員

節税意識とかいうのもあるけれど、飯塚出身で東京にいる人が、必ず飯塚に節税目的で寄附する必要はないでしょう。それから返礼品という点から言っても、飯塚のものもすばらしいものがあると思うけれど、もっとすばらしいというか、バラエティーに富んだものが日本全国にあるわけじゃないですか。その中で、飯塚市出身の方が多いのではないかと想像するけれど、やっぱり飯塚を選んで寄附をしたという背景には、飯塚の皆さんに、新型コロナに負けるな、コロナ対策に使ってもらいたいと、できることなら。そういうような思いが込められていると思うけれど、皆さんはどう思われていますか。

○地域振興課長

コロナにつきましては、返礼品のメニューの中には含めさせていただいて、そのような応援をいただけるような仕組みは作らせていただいております。

○川上委員

ということは、私がそうではないかなと思ったのもあるよということになりますかね。

○地域振興課長

応援メッセージなどを含めたところで、そういうふうな応援をしていただいているということはあるというふうにご考えます。

○川上委員

応援メッセージはどのようなものが入っていますか。

○地域振興課長

コロナに負けるな、コロナのために活用してくださいとか、そのような激励をいただいているというところがございます。

○川上委員

そういうメッセージは、1通、2通ぐらいですか、それとも多いですか。

○地域振興課長

多いというふうにご考えています。

○川上委員

それから、ふるさと応援寄附金については、地元業者の応援に貢献していますというふうにご説明があったと思います。44億8千万円まで補正後の見込みが出ているわけだけれど、現実的には、具体的にはどのように、どの部門・分野で、どういうふうにご貢献ができていますか、お尋ねします。

○地域振興課長

販路拡大等には、つながっているというふうには考えております。

○川上委員

具体的には、どういったところがありますか。

○委員長

暫時休憩いたします。

休憩 11:31

再 開 11:31

委員会を再開いたします。

○川上委員

この間、ふるさと応援寄附事業については、地元業者の支援につながっていますという、言わばメリットがあるんですという説明があっているわけですよ。具体的には、こういったことが今あるか、お尋ねしたわけです。

○地域振興課長

地域の小売店さんとかの品物が売れているわけでございますので、それに伴いまして、例えば加工品であれば、そういったものの増加もありますし、それに関わる人の雇用など、そういったものにもつながっているのではないかというふうに考えます。

○川上委員

販売という点で言えば、どういうジャンルのものが、どのくらいということをもう把握しているでしょう。ちょっとそれを答弁してください。

○地域振興課長

最もやっぱり多いのが加工品でございます。これはハンバーグを中心とした加工品というふうなものが、一番多ございます。次に魚介類ですね。その次に飲料関係、それから肉、その次に果物、上位5位で言えば、そのような状況になっております。

○川上委員

その順位はわかりましたけれど、金額はどれくらいかわかりますか。

○地域振興課長

寄附額で言えば、加工品が約25億円ぐらいです。それと魚介類が3億円弱。飲料類が2億円、肉が1億6千万円、果物類が約5千万円強ぐらいということになっております。

○川上委員

それは公表資料ではないんですか。

○地域振興課長

公表資料ではちょっとございません。

○川上委員

近いうちに、それをもらいましょう。それで、これに仕事の確保ということが関わって、地域経済に一定の効果があるでしょうということなんだけれど、そこの全体的な増は把握するようになっていきますか。

○地域振興課長

本市におけるふるさと納税全体像を、ちょっと把握するようなことはやってはおりません。

○川上委員

本市の商工観光振興費の予算でも決算でもいいんですけど、ボリューム感の中で、地域の大きいところもあるかもしれませんが、零細のところも含めて支援を、市がどのくらい予算を組んでいるかと、それで、どれくらい効果が出ているかという事業評価があるわけですよ。それとの関係で、この事業がどのくらい貢献できているのかなというのは、いつも見つめながら、と思うわけです。それで、補正後の寄附の到達が44億8千万円ということなんだけれど、支出においては、銀行手数料は全体として、どのくらいになる見込みか、お尋ねします。

○地域振興課長

クレジットカード決済になっておりますので、それが全体で1160万9千円。それとあと、郵便局の専用の口座振替手数料が47万円というふうなことになっております。

○川上委員

ほかに、この事業を協力してもらっているところ、請け負いをもってもらっているところが、どのくらいあって、そこに協力金とかいうのを出しているものがあれば、その数字も教えてく

ださい。相手と数字。

○地域振興課長

協力金というのはございませんけれども、事務代行の手数料ということで設定している部分がございます。それとあとは、送料ということもございます。

○川上委員

事務代行と言われましたかね。業者になるのか、団体になるのかわかりませんが、その名前と額をお尋ねします。

○委員長

暫時休憩いたします。

休 憩 10:39

再 開 10:39

委員会を再開いたします。

○地域振興課長

まず、ウェブサイトのほうでございますが、8者ございます。ふるさとチョイス、楽天、さとふる、ふるさと本舗、auPay、ふるナビ、ANA、ふるさとプレミアムの8者でございます。それと、シフトプラスということで事務代行という業者がございますので、あわせて全体の手数料が6億4514万7300円、約6億4500万円程度の金額でございます。

○川上委員

そのうち、ウェブ8者の名前を聞きましたけれど、金額も教えてください。

○地域振興課長

サイトの分につきましては、申し込み件数とかによってちょっと変動しますので、ちょっと件数自体の現時点での把握がちょっとできておりません。ということでございます。

○川上委員

しかし、6億円という数字が出たでしょう。6億4514万7千円という数字が出たでしょう。

○地域振興課長

現時点での寄附見込みでございますが、8者全体で44億8千万円ということで、大体の概算でございますが、ふるさとチョイスが——、すみません、失礼しました。

○委員長

暫時休憩いたします。

休 憩 10:42

再 開 10:43

委員会を再開いたします。

○地域振興課長

ウェブサイトと事務代行会社がちょっと金額に合わせて、それぞれ金額をはじいておりますので、ふるさとチョイスとシフトプラスを合わせて約1億2千万円、楽天で2億3500万円、さとふる2億円、ふるさと本舗は600万円、auPay2300万円、ふるナビ1900万円、ANAが650万円ということでございます。

○川上委員

ほかに、この事業に関わって支出をした、あるいはするところがありますか。

○地域振興課長

ちょっと先ほど申し上げた郵便代金と送料ですから、いわゆる宅急便の会社とかにお支払いする分がございます。

○川上委員

その額が47万円ということではないんでしょう。別に金額があるんでしょう、宅急便関係

で。

○地域振興課長

宅急便関係の費用は、先ほどの記念品の中に入っております。

○川上委員

そしたら6億4500万円余以外にはないということになりますかね。

○地域振興課長

はい、そのように考えています。

○委員長

ほかに質疑はありませんか。

(な し)

質疑を終結いたします。討論を許します。討論はありませんか。

○川上委員

ふるさと納税の問題については、きょうは財政課もないのであれなんですけれど、そもそも地方自治体で必要な財源について、標準・基準より少ない場合は、地方交付税で手当てするというのが地方財政法の基本的な考え方です。こうした中で、このふるさと応援寄附という制度が導入されて久しいわけけれども、これはやらなければ、その自治体に住む人がほかの自治体に寄附をして税収が落ちると。またもらえばもらった分は寄附ということで受け取れると。多額な、あるいは高額な返礼品が問題になったこともあるし、今もないことはないんですよ。その節税という発想もある中で、これがある程度お金を持っている人たちには非常に有利で、そうではない、例えば非課税所帯とかは不利なわけで、こういうある面でメリットが強調されるにしても、ある面では財政規律の根幹に関わる問題もあれば、格差間の広がりということもあるわけですね。これが新型コロナ危機の中で広がり続けるということが、社会現象として適切であるかについては、制度設計した側が、つまり国がしっかり考えなければならないことだと、是正を図るべきだというふうに考えますが、現実に飯塚市の財政を確保するという点で言えば、今回の取り組み、今回というか、今のふるさと応援寄附事業については、やむを得ないのではないかとこのように現状考えております。賛成です。

○委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。採決いたします。「議案第2号 専決処分の承認（令和2年度 飯塚市一般会計補正予算（第12号））」については、承認することに、ご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって本案は、承認すべきものと決定いたしました。これもちまして、協働環境委員会を閉会いたします。